

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》濱田 淳一

【概 要】

人体構造機能学Ⅰ、ⅡおよびⅣと合わせて、解剖・生理学の知識と考え方を会得し、人体の構築と機能の恒常性を維持する機構の巧妙さを学ぶ。このシリーズの講義は、今後開講される病理学、病態学、看護学などを習得する上で基礎となるものである。

【学習目標】

人体構造機能学Ⅲでは、血液、免疫、皮膚、腎・泌尿器の構造と機能および骨格・筋の構造を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようになることを目標とする。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	血液	血液の構成成分と造血	濱田
2	血液	凝固線溶系	濱田
3	免疫	免疫担当臓器と生体防御の概論	濱田
4	皮膚	皮膚の構造と機能	濱田
5	腎・泌尿器 1	腎臓の構造と機能（1）	濱田
6	腎・泌尿器 2	腎臓の構造と機能（2）	濱田
7	腎・泌尿器 3	腎臓の構造と機能（3）	濱田
8	腎・泌尿器 4	尿管・膀胱・尿道の構造と機能	濱田
9	骨格・筋 1	骨と骨格筋の構造と機能（1）	濱田
10	骨格・筋 2	骨と骨格筋の構造と機能（2）	濱田
11	骨格・筋 3	体幹の骨格・筋の構造と機能（1）	濱田
12	骨格・筋 4	体幹の骨格・筋の構造と機能（2）	濱田
13	骨格・筋 5	上肢の骨格・筋の構造と機能	濱田
14	骨格・筋 6	下肢の骨格・筋の構造と機能	濱田
15	骨格・筋 7	頭頸部の骨格・筋の構造と機能	濱田

【評価方法】

定期試験90%、授業参加状況（出席カードの設問に対する回答内容）10%

【備 考】

教科書：教科書：系統看護学講座 専門基礎1解剖生理学：人体の構造と機能（1）（医学書院）

参考書：ぜんぶわかる人体解剖図-系統別・部位別にわかりやすいビジュアル解説（坂井建雄・橋本尚詞 著、成美堂出版）
 病気がみえる5血液、6免疫・膠原病・感染症、8腎・泌尿器（メディックメディア）
 骨単（語源から覚える解剖学英単語集（骨編））（原島広至 著・河合良訓 監修、エヌ・ティー・エス）
 肉単（語源から覚える解剖学英単語集（筋肉編））（原島広至 著・河合良訓 監修、エヌ・ティー・エス）

【学習の準備】

今回の授業範囲を教科書で熟読しておくこと（20分）。配付プリントの復習問題を次回までに解いておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】